



森のなかま

2018年9月号

NO. 125 (継続270号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

森林部会 平成30年度 『竹林整備研修会』 6月24日(日)9:20~15:00 曇り
場所 南足柄市内山県立21世紀の森 真竹展示林 参加者27名
講師インストラクター: 徳岡 達郎氏 11期 佐藤 武晴氏 5期 大橋 聡氏 11期

<森林部会 記:竹内 明彦 15期> (写真撮影:水上 正昭 13期)

梅雨真っ盛りとあって、夜が明けてもなかなか雨が降り止まず、散々気を揉ませましたが、21世紀の森に到着した頃には、曇り空。直射日光が無い絶好の作業日和となりました。おそらくどの地域でも同じだと思いますが、竹林整備はボランティアとして求められることの多い作業です。私も地元で数多く行ってきました。しかし一般参加者でなく、インストラクターとしての基本は出来ているかと問われれば、甚だ自信がありません。マニュアルだけでなく実践で基本の作業を一つ一つ確認し、身につけたいと思い参加しました。



9時20分からオリエンテーション。その後、本日の総括講師・徳岡達郎さん(11期)の講義がありました。第一部は森林部会が作成した「竹林整備作業マニュアル」の要点を、分かり易く解説して頂きました。基本的な知識で、何度も読んではいませんが、あらためて要点を整理できました。第二部は徳岡講師が作成した請負事業編のレジユメを基に、請負事業に参画する参考例を説明して頂きました。刈払機、チェーンソーを主力に使う実践例で、「プロとボランティアの中間の、ノンプロクラス」を想定されているそうです。「雄竹、雌竹の見分け方、また伐るのは雄竹から」といった知識は勉強になります。スパイク地下足袋や、古竹の処理には木材用並目の剪定鋸の使用も考える、といった実践的知恵が大変ためになりました。ロープによる引き倒し、こん棒の使用など、普段の活動では出来ない方法も参考になりました。

11時から三班に分かれて展示林に入り実習です。講師は徳岡さんの他、佐藤武晴さん(5期)、大橋聡さん(11期)です。展示林の真竹は育ちが悪く、殆どが細い物なので、弾けに注意すれば、伐倒に苦労することはありません。倒れた竹、曲がっている竹、放置された竹の整理が主な仕事です。講師からは竹の処理の効率を上げるために、枝払いの場所は集積所に運びやすい場所を考えて、段取りをしっかりとるように厳しく注意されました。また集積場所を如何にキレイに見せるかにも気を配るように指導されます。昼食タイムを挟んで、夢中になって作業している内に14時になって終了時間となりました。

道具を清掃した後、14時半から反省会です。集積の効率を考えること、また集積場所を如何にキレイに見せるかが、勉強になったとの声がありました。また、ヒヤリハットでは、足の踏み抜きには注意していても、倒れたときに切り株で怪我をしそうになったとの声がありました。地際できちんと伐る必要性をあらためて指摘されました。

(次ページにつづく)

県民参加の森林づくりでは、自分がかつてそうだったように、地元の活動のための勉強に来ている参加者が多いと思います。効率的な作業方法、道具の知識、安全の意識を、インストラクターとして正確に伝えていくために、今回の研修を役立てたいと思います。



Before



After

参加者

有坂⑧、石垣⑮、岩田⑭、内野⑨、江上⑬、小野⑦、北村⑬、斎藤⑬、佐藤義和⑪、水津⑨、末原⑮、鈴木⑭、竹内⑮、塚野⑮、福島⑪、星野⑬、水野⑭、山口⑪、湯浅⑪、妙泉⑮(五十音順)

講師：徳岡⑪、佐藤⑤、大橋⑪ スタッフ：滝澤⑤、水上⑬ 【参加者：25名(講師、スタッフ含む)】



自然観察部会 平成30年度 『自然観察スキルアップ研修会』

2018年6月3日(日)9:30~15:20 晴れ 参加者27名 場所 県立東高根森林公園

講師インストラクター：女川 修氏 9期 小林 富二男氏 10期

<自然観察部会 記 小笠原 多加子 10期>

参加者 友谷①、菊地①、鈴木(友)③、野田⑧、三浦⑧、内野⑨、福原⑩、大塚⑪、山下⑪、大橋⑪、赤崎⑫、小池⑫、菌田⑬、松石⑬、長尾⑬、稲野辺⑬、鈴木⑭、水野⑭、西岡⑭、山口⑭、國弘⑭、石垣⑮、河西⑮、大高⑮、塚野⑮、飛田⑮、小笠原⑩

今までの研修会は受け身的なものであったが、今回は各自自ら班のリーダーとしてどのように行動するかというものであった。午前中は講師の解説で公園内を下見した。昼食時に観察会のキャッチフレーズを決めた。午後からは参加者全員が交代で1区間ごとリーダー・サブリーダーを担当して、解説や引率を行なった。講師が区画ごとコメントをしてくださった。最後のまとめでは総評のほかにもNG例も発表された。

参加者の声 ・メンバーの実演を観ることによって自分の足りない点やマズイ点などがよくみえた。

- ・どの材料を選んで説明するかが参考になった。立ち位置などの基本も再確認できた。
- ・今回研修で得た知識をこれからどんどん活用していきたい。

今回は参加申し込みが多く、早めに締め切らせて頂きました。



女川、小林講師 から



リーダー・サブリーダーとして



8月4日(土)に開催された水源林のつどいは10号掲載となります



(公財)トラストみどり財団主催 平成30年度第2回ブラッシュアップ研修 「丸太筋工、経路工の施工方法」

研修生:32名

日時:平成30年7月7日(土)、場所:南足柄市塚原地内(塚原ボランティアフィールド)

< 研修生 山崎 博 12期 >

ブラッシュアップ研修「丸太筋工、経路工の施工方法」が行われました。現地到着オリエンテーションの後、現場へ向い、午前中に、各班各に、当日作業に見合った丸太、土留め横木直径約10cm長さ2m、階段約0.8m、杭約0.6mを現地で調達、杭先端加工を行いました。午後(有)丹沢前田講師に指導を受けながら私の班では階段作りから始めました。水平に床を整え、仮置きした横木で杭打の位置決め、掛矢(大木槌)で垂直に打込みました。(この際周りの人は傾きを指示、クワやスコップで杭を支持)。番線は締め上げ前の癖付けを、シノ(篠金物から由来)でしっかり行えば緩みが出ない。その後杭と丸太をシノで締め上げれば経路階段1段目の完成です。班メンバー交代でこれを実施しました。番線の締め上げ作業の出来栄は、横から見た番線の重なり順とクロス的位置、上から見た三角が歪んでいなければ、まずまずの出来でした。見栄え良くするには経験が必要です。階段の次の段、その次ぎ段とも比較的スムーズに作業が進みました。筋工土留め2段では水平を出す事と、床との隙間、横木どうしの隙間を無くす事に結構時間が割かれました。杭3本を打ち込むときは出来るだけ傾かない様に行い、一直線にする、間隔を均一にすること。最後に土留め端の土砂流失防止処理として端側に石詰めをし、又は横木を挟むように内側に杭打ちを行い、土砂の流失押さえを実施しました。

グループ5,6人で、交代で経験出来たので班編制が良かったと思います。森林インストラクターとして資質の向上が図れました。今後、現場を経験することで技術向上を、実践したいと思います。



オリエンテーション



杭の切り出し



杭と階段横木



デモンストレーション先端加工



番線は最初が肝心



シノで締め上げ



くい打ち



土留め端の処理



土留め仕上げ処理



終了の挨拶

研修工程

- ・8:30~9:10 バス移動
- ・9:10~9:20 オリエンテーション
- ・9:20~9:50 作業場所まで徒歩(道具、一部資材も運搬)
- ・9:50~14:30 講義/実技
- ・14:30~15:00 下山
- ・15:00~15:20 講評 感想
- ・15:30~16:00 バス移動、解散

講師:(有)丹沢 代表 前田氏、杉崎氏、岸田氏、

財団:2名 内田様等

研修生:32名

友谷①、滝澤⑤、森本⑤、小野⑦、有坂⑧、久保⑧、飯澤⑨、水口⑨、辻村⑨、福島⑨、村井⑨、水津⑨、松山⑩、大橋⑪、真貝⑪、徳岡⑪、西出⑫、宮下⑫、門沢⑫、山崎⑫、宇田川⑬、江上⑬、北村⑬、小松⑭、西岡⑭、牧石⑭、水野⑭、石井(実)⑮、石井(裕)⑮、小野寺(孝)⑮、森⑮、妙泉⑮、



カケヤ と シノ

活動短信

今回の掲載は7/3～7/11です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラスト
より



半夏生 7/2～7/6頃
はんげしようず
鳥柄杓が生える
第三十候 夏至 未焼

温風至 7/7～7/11頃
あつかぜいたる
暖かい風が吹いてくる
第三十一候 小暑 初焼

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
 - 場** 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
 - 参** 参加者 人数
 - 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
 - 財** (公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師
 - スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
 - イ** インストラクター (○数字:期) **研**:研修枠
- 以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 小田原森林組合 昆虫採取罠(トラップ)づくり

- 日** 6月30日(土)13:00～16:00
- 場** 小田原市久野 いこいの森
- 参** 大人8名・子供 10名
- スタッフ** 小田原森林組合 佐藤様他
- イ** 赤崎⑫

夏休みも近づく青空のいこいの森にて、昆虫が大好きな親子の皆様が集まってくださいました。活動の後も自分で作れるように、身近な材料を利用して作ることでできるトラップを2種類紹介して、一緒に作成しました。作ったのは、ペットボトルを利用した罠(ノムラホイホイ)と、使い捨てのプラコップを利用したもの。また、フライトインターセプトトラップという、飛翔性のある昆虫の罠は、森林組合の佐藤様に事前に作成していただき、参加者と森の中へ仕掛けに行きました。

その後、罠に入れるバナナトラップという餌を炊事場で火を起こして鍋で煮て作成しました。煮ている間は、職員の方に見ていただきながら、先ほど作成した、地面に仕掛けて地上徘徊性の昆虫の罠である、フォールトラップを仕

掛けました。

バナナトラップができれば、いこいの森を散策しながら、先ほど作ったペットボトルトラップを仕掛け、餌のバナナトラップを投入。希望者は次の日の朝、8時に集合して罠を見に行くことになっていたが、全員が参加したようです。

(記 赤崎 さほり ⑫)

***** (以上7/1以前) *****

◆ 横浜市立永野小学校

環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～ 「木がためこんでいる二酸化炭素の量を測ろう」

- 日** 7月3日(火)、晴れ
- 場** 横浜市港南区上永谷 永野小学校
- 参** 環境委員会(小学5,6年生)の25名と教師2名
- イ** L井出①、堀江④、小野⑮

今年度最初の学校派遣事業。授業時間が1コマと短かったため、事前打合せの際、教師とインストラクターで選木と番号付けを行い、また樹木の太さの測定は事前に学校側(教師と児童)で行ってもらいました。

授業当日は、測定した個々の樹木の吸収量を1人ずつ順番に発表し、パソコンに入力して学校林全体の二酸化炭素吸収量を算出。これと今回参加した児童全員の二酸化炭素排出量と比較し、樹木がいかにも多くの二酸化炭素を吸収しているかを体験的に気付いてもらいました。その後、パワーポイントで光合成や森林の役割(地球環境保全)について解説し、森林の地球環境保全機能について理解を深めました。

(記 井出 恒夫 ①)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

- 日** 7月4日(水)8:30～13:45、曇り時々小雨
- 場** 相模原市緑区鳥屋
- 参** 38名(男33名・女5名)
- 財** 大木様、佐々木様 **看** 小林様
- スタッフ** (用具配備)津久井郡森林組合 柳川様、永井様
(地元関係者)相模原市まち・みどり公社 志村様
- イ** L大原⑬、柏倉④、佐藤⑤、滝澤⑤、富樫⑥、
野牛⑧、宮下⑩、北村⑬、竹内⑮ **研** 佐々木⑮

小雨が降ったり止んだり不安定な天気でしたが、38名が参加。場所は鳥居原園地から歩いて約10分の個人所有地で、面積はさほど広くありません。4年前にイロハモミジ、ヤマザクラ、ヤマボウシ、カツラが植樹されていて、その苗木を育てるために下刈り作業です。事前に下見した財団の大木様、大原インストラクターリーダーから、目印の古竹が抜けている上、苗木の育ちが悪くて小さいので、誤伐に気をつけるように指示がありました。

四班に分かれて敷地に入りました。敷地が狭いので、大

鎌を振り回さ無いように念を押します。ツル絡みも多く、参加者の手が回らない所は、インストラクターが持参の剪定鋏で伐りました。初心者もいたので、鎌の使い方などを指導しましたが、多くの参加者はベテランで効率も良く、予定より早く11時半に修了。鎌を研磨し、道具の収納もスムーズでした。ヤマビル被害1名の他は、ヒヤリハットもありませんでした。

昼食を摂りながら参加者の意見を伺うと、大鎌だけでなく、中鎌か小鎌も使い易いのではないかという意見が複数。また剪定鋏があった方がツルの処理に便利だったという指摘もありました。雨が本降りになったため、予定より早く現地を出発、13時半に本厚木で解散しました。

(記 竹内 明彦 ⑬)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 相模原市立内郷小学校 間伐

○事前授業

日 6月27日(水)13:50~14:35、晴れ

場 相模原市緑区寸沢嵐 内郷小学校

参 小学5年生 担任教師及び生徒18名

イ 小野⑦

7月5日にやませみにて実施予定の間伐研修に関する事前授業。6月25日に講話内容について学校を訪問し担任教師と協議してその内容に沿って進めた。

最初は自己紹介、生徒との活動時に良く受ける質問「なんで今の職業を選んだか」に先手を打って「職業では有りません・・・」からスタート。森林の働き、日本の林業の現状と課題、森林を作り育てるサイクル等を限られた時間内でPC画面と黒板を使いながら説明。心掛けたことは毎度ながら一方通行にならない事。森林を作り育てる50年以上の長いサイクルについては農作物と比較してその長さを<50年以上たつてやっとお金になる>現実に改めてみんなビックリ。

間伐作業は伐倒木・スリングをかける木・引っ張り方向の配置や受け口、追い口などを黒板に図示して説明。間伐は大変危険な作業なので「怪我をしない」事が最も大事だが同時に「自然をいっぱい楽しんでほしい」とお願いした。

限られた時間内で皆さん如何に理解できたか、全く自信はないが明るく元気いっぱいの生徒さん達に助けられながらの45分でした。(記 小野 幸広 ⑦)

○間伐本番

日 7月5日(木)9:00~13:30、曇り時々小雨

場 相模原市緑区澤井 大日野原地区

参 小学5年生19名と 副校長、教師2名

スタッフ やませみ職員3名

イ L小野⑦、内野⑨

今にも降り出しそうな空模様なるも、何とか実施可能と判断、当初計画の「林内での昼食、ミーティング」を変更し、間伐後コースター用の材料1.5mを持帰りやませみにて製作することにした。

間伐対象木は杉の大径木で樹高も有る為、2班編成でやませみ職員2名の応援も頂き作業を開始した。

受け口の切込では生徒が交代で周りの生徒達からの声援を受けながら切り進めたが追い口切りでは安全を考慮して早めに生徒、先生をロープ引き場所に配置、傾き具合を見ながらインストラクターが切込み、地響きを伴っての倒伏時は大歓声と、拍手でした。

やませみ帰着後はコースター作りで午前の活動時は終了。昼食後はグループミーティングで間伐の感想など発表初めての伐倒体験(自分たちで倒した)ことへの達成感が感じられる発言でした。(記 小野 幸広 ⑦)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 横浜市立桜岡小学校 森林学習(間伐体験)

場 相模原市緑区長竹

日 7月5日(木)9:15~14:20、曇り

参 小学5年生108名(5年生3クラス)(生徒95名、大人13名(教師10名、インターシップ3名))

財 古舘様

イ L松本⑩、井出①、柏倉④、有坂⑧、久保⑧、鈴木⑧、三浦⑧、村井⑨、松山⑩、西出⑫、小松⑭、牧石⑭

昨年度は体験時間が不十分であったので、今年は時間を多くして頂き、インストラクターもメリハリを付けて指導するように心がけた。

インストラクターは8:45にふれあいの村第一駐車場に集合。打ち合わせをし、一部は財団の道具積み込みの手伝いに、一部は生徒のバス3台の到着待ちとトイレ場所の案内で待機していた。

児童・教師を乗せたバスは15分遅れで到着。昨年度は時間が足りず、不十分な間伐体験であったので今回は45分早めに計画。そして前回は荷物を集会室に置いたりしていたので、今回荷物はバスにそのまま、トイレをすませて芝広場で9時30分から児童の司会で始まりの会、担当教師から注意事項の後、インストラクターへバトン、森林間伐の概要とインストラクターの自己紹介し、再び生徒へ、『力強い活動宣言』で始まりの会が終わり、生徒はバス

でインストラクターはマイカー乗り合わせで現地へ。班は予定11班⇒10班に(体の弱い人が一つの班に)。対象木は直径約10～13cmヒノキ、各班1本の間伐 コースター作り(各自1枚)を目標に作業をおこなった。長竹着10時10分。1班から順次ヘルメット、枝打ちノコ装着。必要な機材を持ち、間伐現場に10時30分到着。森林の周囲を眺めながら、なぜ間伐をするのか、その必要性等を説明。間伐木の選定、安全に倒す方法の説明を行い、間伐作業に入る。間伐ノコを初めて持つ児童に技術指導しながら各班1本の木を倒し、枝を落とし玉切り、各自1個のコースターを作って、12:



20～13:00 昼食、班毎に各インストラクターは夫々のお話。今年は生徒とお別れの挨拶も班毎に行った。13:10～13:30 下山。13:30～13:50 道具手入れ等。13:55 生徒はバス乗車開始。14:20 生徒バス出発。

14:20～15:00 道具、間伐材10本(雨天バージョン時の材確保)の積み込みふれあいの村へ搬送。インストラクターもマイカー乗り合わせで。今回暑さのせいだろうか山ビルは見られなかった。目標であった時間配分もインストラクターの努力により上手くいって生徒も教師も満足で来たと思う。

(記 松本 保 ⑪)

◆ 横浜市立菅田小学校
愛川宿泊体験学習(高取山登山)

- 日 7月8日(日)9:00～13:30、晴れ
- 場 神奈川県立愛川ふれあいの村 高取山
- 参 横浜市立菅田小学校 4年、5年生 2クラス 101名(生徒92名、教師等9名)
- イ L牧石⑭、小野⑦、小沢⑨、松本⑪、永松⑫、西出⑬、江頭⑬、木村⑭、小松⑭

当時の天候は曇りのち晴れの予報、各班9名～10名(4年生、5年生)が9班に分かれ、愛川ふれあいの村、登山口より登山を開始。5年生の班リーダーを先頭に、一步一步確りとした足取り山頂を目指しました。コースの途中で見られる、植物、森林状態、周囲の景色の説明をしながら、最初の休憩ポイント「東の平」に10時15分に1班が到着、水分補給、塩分



補給と取りながら約10分の休憩を行った後、登山開始。第二休憩ポイントまでのコースで見られる「玉ネギ石」の説明、愛川ふれあいの村が望める場所では、愛川ふれあいの村をバックに班毎の記念撮影が実施されました。モミの木分岐で2回目の休憩を行った後、11:50に先頭1班が高取山(705m)山頂に到着、12:20で全9班全員が到着。山頂に設置された鉄塔に登ると、宮ヶ瀬ダム、丹沢のパノラマが広がっていました。各班でまとまって昼食をとったのち、13:00より下山開始。下山では1回の休憩をとり、予定の13:30までに、全9班全員が愛川ふれあいの村に到着。お別れの会では参加者より「達成感があった」と感想を聞かせていただき、無事終了しました。

(記 牧石 稔 ⑭)

◆ 海老名市立柏ヶ谷小学校
環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～
「木がためこんでいる二酸化炭素の量を測ろう」

- 日 7月10日(火)、晴れ
- 場 海老名市柏ヶ谷1090 柏ヶ谷小学校
- 参 小学6年生3クラス83名と教師3名
- イ L井出①、堀江④、松本⑧、石垣⑮

事前打合せの際、教師とインストラクターで選木と番号付けを行いました。

3クラスあるため、1クラスごと計3回実施。各クラス1コマ目は授業の進め方の説明と、樹木の太さの測定を行いました。この学校には桜の大木が多くあり、樹木尺1つでは測定できず、児童数人で協力して測定を行いました。

各2コマ目は、測定した個々の樹木の吸収量を1人ずつ順番に発表し、パソコンに入力して学校林の二酸化炭素吸収量を棒グラフに表しました。発表するごとにスクリーンに映し出されるグラフが伸びて行き、これと6年生全員の二酸化炭素排出量の棒グラフと比較して超えるか超えないか、最後まで子供たちの目はスクリーンに釘付けでした(結果はわずかに超えなかった)。

その後、パワーポイントで光合成や森林の役割(地球環境保全)について解説し、森林の地球環境保全機能について理解を深めました。

(記 井出 恒夫 ①)

◆ 横浜市立 下野庭小学校【港南区】
三浦ふれあいの村 宿泊体験学習

- 日 7月11日(水)13:00～14:30、晴れ
- 場 三浦ふれあいの村 保健保安林
- 参 小学5年生 98名 教師等 6名
- イ L小笠原⑩、友谷①、渡部⑦、内野⑨ 海野⑩、中村⑪、菌田⑬、牧石⑭、阿藤⑮

夏の暑い日差しが照る昼過ぎに、3クラス98名の生徒

を9班に分けての森の自然観察体験です。

三浦ふれあいの村の保健保安林は三浦長浜海岸近くにあり、海岸性の植物が混在する森です。夏の森はハチやヌルデなどの危険動植物も多く、森に入る前に観察方法について注意説明を行いました。

森の中にはたくさんのトラップ【虫を捕まえるしかけ】が設置されていて、これは昆虫採集の手段として用いますが、ここでは害虫駆除の目的にも使用されているようで、今回はカナブンがたくさん捕獲されていました。

森の入り口にはハマユウ、森の中にはトベラなど温暖な海岸近くで見られる植物も多くあり、またツバキやオニグルミの樹には実がついていて、タイワンリスかノネズミなどの食痕が残されており、子供達は不思議そうに覗いていました！ 森の中ではウラシマソウとその青い実や、ミズヒキの紅と白の花を発見しその名前の所以を説明。出口付近ではクズが繁茂しており、クズについては強すぎる光を避けて葉を動かす「葉っぱの不思議な力」を説明することができました。夏の森では多くの植物に出会えることができますが知らない植物も多くあり、

もっとたくさんの森の知識の引出しを持てるようにならなければの思い…。

夏の暑い森の中を皆楽しく怪我もなく過ごせ、子供達の乗るバスに手を振ってお別れしました。

無事、夏の森の散策を終了できたことに感謝です。

(記 阿藤 壽孝 ⑮)

① L 高橋⑨、大道⑥、斎藤⑥、小野⑦、山崎⑦、大原⑬、小貝⑭ 研修:妙泉⑮

天気予報でも気温が上がると予報されており、朝から汗ばむ日となった。

参加者はリピーターの方が多く、草刈り作業が初めての方は数人と少なかった。

朝のミーティングでは、炎天下での草刈り作業の為、熱中症の予防についての注意、カヤが背丈を超えている現場のため周囲への注意、足元が見難いため作業場所の傾斜等の注意等を確認し作業を開始した。

作業は予想どおり、炎天下に背の高い草の中での作業となり、当初は人の姿も見えず作業進度も良く分からない状況であったが、刈り取られた場所が点から線になっていくほど順調に作業が進んだ。

各班でもこまめな休憩指示が出され、熱中症の方、ハチ等の被害、怪我も無く作業は時間通り終了し、作業場所はカヤで見えなかった植栽木も見えるようになり、達成感のある作業でした。

(記 高橋 修 ⑨)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

◇ 県民参加の森林づくり活動 下刈

日 7月11日(水)8:00~13:30、晴れ

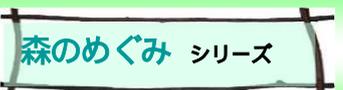
場 小田原市久野(市有林)

参 30名

財 古館様、大木様 看 小林様、

その他 小田原市:野澤様 森林組合:1名

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。次掲載は10月号です。



森林探訪

【共催】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

自然観察 約6km・↑約100m

9月23日(日) 河村城址・洒水の滝
～山北の歴史と自然を訪ねて～

9:00～15:00

【講師】NPO法人かながわ森林インストラクターの会
【集合】JR山北駅改札前 9:00

会員 500円
一般 1,000円

80人(先着順) 受付中:~9/16

【コース】山北駅～河村城址～河村城址歴史公園～(昼食休憩)～洒水の滝入口～洒水の滝～山北駅
※小雨天実施※天候等の状況によりコースを変更する場合があります。【服装】ハイキングができる程度(長袖、長ズボン、帽子)、防水性のある履き慣れた靴



【申込方法】森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、往復ハガキ、またはメールで。

〒243-0018

厚木市中町2-13-14 サンシャインビル6階604号

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

☑ kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp

【問い合わせ】☎090-6150-6173(担当:赤崎)

やどりき水源林ミニガイド

8月のトピックス

今年もやどりき水源林のつどいが開催されました。詳細は10月号で掲載します。



8/4:赤崎さん@撮影

9月の水源林

残暑も、やどりきに来て森や川で暑さを回避しませんか。森や川はマイナスイオンで健康になります。森の案内人がお待ちしております。

「森の案内」情報

案内と事故保険は無料です。

- 実施時間:毎週土曜・日曜 AM10時・PM1時、1~2時間程度
- 集合:水源林入口ゲート前
- 内容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラス
みどり財団 TEL:045-412-2255
FAX:045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/t27/yadorikil27.htm>
E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅またはJR御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。
バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

第47回 足柄峠笛まつり



9月9日(日) 10:30~15:25
足柄城址・足柄峠付近

詳細は下記URLで
南足柄市
<http://home.minamiashigara.kokosil.net/ja/archives/5350>

静岡県小山町
http://www.fujiyama.jp/kankoubunka_event_f/25umByhtml

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 笠原かずみ
Mail: happy_kumakuma711@icloud.com
Tel: 090-4137-9265

<メール・手書き原稿送付先>
【本誌】松本 保
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
【別冊】黒川 敏史
〒247-0066 鎌倉市山崎2273-1-515
Tel: 080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp
【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)
〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷3-1-1-204
Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp
原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当:井出恒夫)

編集後記

★やどりき水源林で水棲生物の観察で始めは虫を気持ち悪がる子供さんがだんだん怖がらなくなってきました。そんな瞬間に立ち会えるのっていいですね。

(笠原)

★別冊の編集を通じ、暑い中たくさんの方々の活躍の様子がわかります。先日初めて県民参加活動の統括リーダーをつとめました。大きな問題もなく無事に終わり、ほっとしています。

(黒川)

★異常気象と言われた日本では無いような酷暑もやはりお盆を過ぎたら少し過ぎやすくなりました。今年の水源林の集いでは熱中症にかかり皆様にご苦労をおかけしました。ひたすらエアコンの効いている室内で過ごしていても太るだけだし、やはり野外で適度に身体を動かしていないと。

(吉田)

★高峰温泉から黒斑山(2414m)に登ってきました。温泉からは八ヶ岳、富士山が見え、軽井沢の夜景と星空も素晴らしかった!歩いていると浅間山も眼前に..!噴火警戒レベル2の登山でした!!

(阿藤)

★先月号でタイの洞窟の少年達、日本の高校野球球児の体力と気力はすごいと。今月はもっとすごい、周防市の行方不明2歳児よき君と発見の78歳尾島さんがいました。唯々拍手です。年齢、形は違いますが、私達インストラクター仲間にも尾島さんのような人がいます。私も1/100でもいいから近づきたいです。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島正治
広報部: 藺田栄哉 吉田郁夫
黒川敏史 笠原かずみ
加藤優美 阿藤壽孝、竹内明彦
支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

神奈川県立生命の星・地球博物館【特別展】植物誌をつくろう!

～『神奈川県植物誌 2018』のできるまでとこれから～

2018年7月14日(土曜)～2018年11月4日(日曜)

「みどりの戸籍簿」とも呼ばれる、県内全域の植物を記録した書籍「神奈川県植物誌」。今年、17年ぶりに新刊が刊行されます。今回の展示では、この「神奈川県植物誌 2018」の調査結果をもとに、過去と未来をつなぐ取り組みを紹介します。

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499
Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23

<http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>



フォッサマグナ要素を代表する植物のサガミジョウロウホトギス